



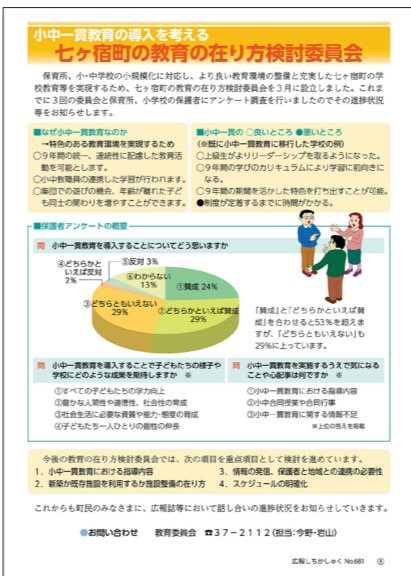
高橋 茂美 議員

問 平成29年10月1日配布の広報しちかしゅくに、小中一貫教育の導入を考えるとして、七ヶ宿町の教育の在り方検討委員会を設立した記事が掲載されていたが、その後の検討委員会の活動状況を伺う。

答 平成29年3月から教育の在り方検討委員会を開催し、計12回会議を行った。

問 教育の在り方検討委員会の活動状況は
答 12回の検討委員会を開催した

1回目、2回目では保・小・中学校の小規模に対応した教育の在り方を協議した。
3回目、4回目では、小中一貫教育に係るアンケート結果と小中一貫教育基本構想について。
5回目では、施設整備の方向性や教育課程編成部会、施設整備検討部会の設置についての話し合い。
6回目では、小中一貫教育基本構想修正案や施設整備の検討状況について協議している。
7回目、8回目では小中一貫教育制度類型について小・中学校建設基本構想(案)について。
9回目では、小・中学校施設整備予定(案)について。



▲教育の在り方検討委員会 (広報しちかしゅく No.681)

10回目では、小中一貫教育施設整備について。
11回目では、これまでの検討事項を確認。
令和元年12月の12回目の会議では、学校施設整備の今後の進め方、長寿命化計画、過疎計画で令和6年度に中学校の基本設計が計画されている中で再度、施設整備の検討を行っていくことを確認している。

答 ソフト面ではある程度でき上がっているが、ハード面が出来てないので一旦中断し、学校を建て替えるときに協議したい。
問 今年はどういう事をするのか。
答 将来は、一貫教育を目指すため、小中学校の校長先生方の連携を更に強化していく。

問 介護タクシー利用者への支援について

答 アンケート調査で利用実態を検討する

問 町外の医療機関に通院する高齢者や、障害を抱えた町民のため、福祉の更なる充実が求められているのでは。

答 町内の要介護者等の介護タクシー利用目的は、

病院からの退院の際に家族の車や一般のタクシーの利用が困難な場合に、自宅までの介護タクシーを利用するといったケースがほとんどで、介護



高橋 きく子 議員



タクシーで定期的に通院するような方はいない。
町内での介護タクシーの利用実績は、令和5年になってから2件あったが、4月以降の利用はない。

問 町外の市町における介護タクシーの利用状況などを調査をすべきでは。

答 町外の介護タクシー事業者は民間であること、

また、個人情報にあたることから調査はできない。町内でアンケート調査を行い支援策について対応したい。

問 車いす利用者を送迎できる車両を町が購入し、業務委託することを積極的に進めるべきでは。

答 車両の購入は考えていない。町営バス、デマンドバスの利用で対応してほしい。



問 介護タクシー利用者への支援策を積極的に取り組む考えは。

答 どのくらいの利用者がいるのかについて調査検討したい。